



タイ、南アフリカの外傷センターで トレーニングしたスタッフが在籍

南アフリカ共和国、タイは日本と比較して外傷が多いため、外傷外科学が広く浸透し、教育システムや専門医制度が確立しています。留学し、経験を積んだスタッフから世界標準の外傷診療トレーニングを受けられる体制を整えています。



海外での外傷トレーニングを目指す若手スタッフには、経験者が海外研修を支援します。

現在チームメンバーは5名。
世界標準の知見をもとに、救命に挑みます。



退院後の生活を重視した 連携の推進

長期的予後、患者生活を重視し、回復期病床や老健施設、在宅医療、リハビリと連携しています。
急性期ばかり診ていると、患者さんを「症例」で見がちになる。でも、患者さんそれぞれにこれまで暮らしてきた背景があり、戻りたい状態、場所があると私たちは知っています。
当院で急性期を診た患者さんが、日常生活の場に復帰されて農業・家事をされている。
そこをイメージして、地域の連携の輪を広げています。



 **倉敷中央病院**
<http://www.kchnet.or.jp>

倉敷中央病院
救命救急センター
Facebook ページ



お問い合わせ

担当：救急科 田村 暢一郎

✉ nt13991@kchnet.or.jp

☎ 086-422-0210 (代表)